

わごころ通信

発行日：令和元年7月1日
発行元：尾鷲市社会福祉協議会
栄町5-5 Tel.22-3246
<http://www.owasewel.com>
info@owasewel.com

尾鷲市社会福祉協議会では、高齢の方が、住み慣れた地域で、ずっと暮らし続けられるよう、【地域のささえ合い】を推進しています。この「わごころ通信」では、ささえ合い活動が、これからも続いていく、また、広まっていくように、尾鷲で活動している方の情報発信をしていきたいと思ひます。

ささえ合い活動ってなに？

地域で暮らし続けていくために、自分たちが元気であるための工夫をすること、それが地域の【ささえ合い活動】です。私たちは、その地域やグループの皆さんが、取り組みやすい活動などを提案させていただいております。

- 隣近所の人に声をかける
- 地域に集いの場をつくる
- 地域の行事に参加する
- 趣味のサークルにでかける



尾鷲市の事例

平成30年度は、大滝自治会を中心に、地域の皆さんが、隣近所とのつながりを保てるように支援させていただきました。大滝会館を拠点に、地域の皆さんが集まりやすくなるように、健康に関する講座を開いたり、住民の方の趣味の手芸を活かして、小物作りをしたりしました。これをきっかけに、地域のラジオ体操が再開！毎朝「おはよう！」と顔を合わせ、適度な運動をし、帰り道では住民同士、井戸端会議に花が咲いています。日々の習慣や井戸端会議が、欠かせないつながり作り、ささえ合いの関係づくりとなり、介護予防につながっています。

紹介してほしい取り組みや、相談がありましたら、ぜひお問い合わせください。



尾鷲市の事例

この他、平成 30 年度は、生活支援のためのボランティア育成『わがらの町の暮らしささえ合い塾』を全 4 回にわたって開催しました。今現在、地区福祉委員会や老人クラブなど様々な形で、【ささえ合い活動】をしてくださっている方々にご参加いただき、【地域のささえ合い】について、みんなで考えました。サロンで役立つレクリエーションの実践も行い、「今後の励みになる」などのご感想をいただきました。この講習をきっかけに、これからの尾鷲でのささえ合い活動を、修了生の皆さまにご意見をいただき、一緒に考えていきたいと思っています。



全 4 回を通して 79 名が参加してくれました♪



楽しいレクリエーションも実践しました



令和元年も開講予定ですにゃ。お楽しみにゃ!

お知らせ

ご近所福祉の第一人者 来鷲!

健康寿命を延ばす秘訣!

~わがらの町で生きていく~

講演会



私たちの暮らす尾鷲では、日常のお付き合いの中で、たくさんの『ささえ合い』が行われています。

今回、広島より、『ご近所福祉クリエイター』の酒井 保さんをお招きしました。暮らしの中にある様々な『ささえ合い』こそ、一番の介護予防であることを教えてくれる、『お宝』なお話をさせていただきます。

日時

令和元年 9 月 6 日(金)

10 時 ~ 12 時 (予定)

受付: 9 時 30 分 ~

場所

尾鷲市中央公民館 3 階 講堂

(尾鷲市中村町 10-41)

定員

100 名 (先着順)



講師

ご近所福祉クリエイター

酒井 保さん

1961 年 広島生まれ。

知的障がい者施設、市町社会福祉協議会、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長職を経て、2014 年 8 月に「ご近所福祉クリエイション」を創設 (主宰)。広島と仙台を拠点として、講演・執筆活動を行っている。イラストレーターとしても活動中。